

ワールドアセットバランス (リスク抑制コース) <愛称：ワールドOne>

追加型投信／海外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く先進国の株式、債券、不動産投資信託証券（リート）および新興国の株式、債券に実質的に分散投資することにより、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年6月12日～2020年12月11日

第8期	決算日：2020年12月11日	
第8期末 (2020年12月11日)	基準価額	10,685円
	純資産総額	36,032百万円
第8期	騰落率	2.4%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
 (注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

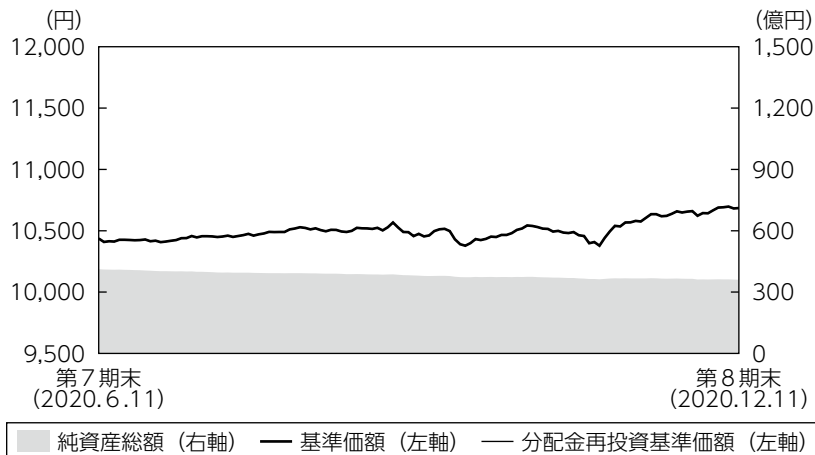
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第8期首：10,437円
 第8期末：10,685円
 (既払分配金0円)
 騰落率：2.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は全ての資産が上昇したため、基準価額は上昇しました。特に株式市場では、期初は欧米における新型コロナウイルスの感染拡大や米中対立激化に対する懸念などから調整する場面もありましたが、経済活動正常化への期待感などから底堅く推移しました。2020年9月以降は米国大統領選挙を巡る不透明感などから調整しましたが、その後米国大統領選挙の結果判明や、11月以降ワクチン開発の進展報道を好感して反発し、前期末比で上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	13.8%
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	1.8%
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	3.2%
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	21.7%
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	2.7%

1万口当たりの費用明細

項目	第8期		項目の概要
	(2020年6月12日 ～2020年12月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	65円	0.623%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,502円です。
(投信会社)	(32)	(0.303)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.303)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.003)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.005)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	1	0.013	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.003)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	68	0.646	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

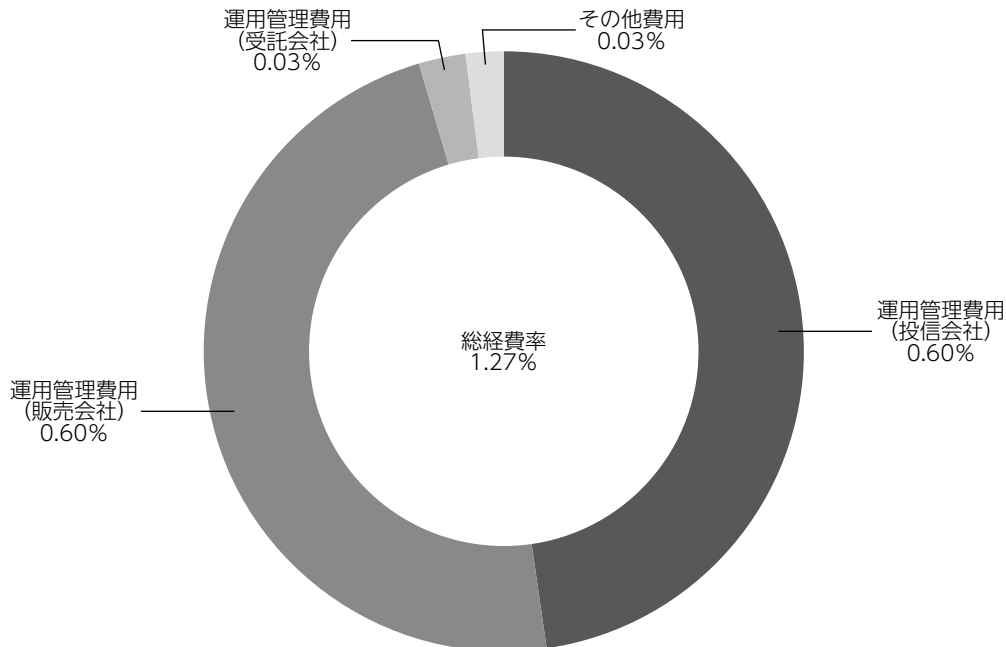
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2017年1月18日 設定日	2017年12月11日 決算日	2018年12月11日 決算日	2019年12月11日 決算日	2020年12月11日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	10,544	9,975	10,681	10,685
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	5.4	△5.4	7.1	0.0
純資産総額 (百万円)	2,157	47,243	53,883	46,310	36,032

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

先進国株式市場は上昇しました。米国市場は欧米における新型コロナウイルスの感染拡大から調整する場面もありましたが、経済活動正常化への期待感などから底堅く推移しました。2020年9月以降は利益確定の売りが広がったことや大統領選挙を巡る不透明感から調整しましたが、その後、大統領選挙の結果判明等から反発して期末を迎えました。欧州市場は方向感に欠ける展開が続きましたが、11月以降ワクチン開発の進展報道を好感して反発し、各国市場は前期末比で上昇しました。

先進国債券市場では、米国債の利回りは上昇（価格は低下）しました。一方、ドイツ債の利回りは低下（価格は上昇）しました。米国債利回りはF R B（米連邦準備理事会）の金融政策の新戦略を受けて米国金融緩和の長期化観測が強まり利回りは低下していましたが、新型コロナウイルスのワクチン開発の期待を受けて利回りは上昇しました。ドイツ債については新型コロナウイルス感染再拡大に伴う欧州景気の下振れ懸念やE C B（欧州中央銀行）の追加緩和期待から利回りが低下しました。

外国リート市場は上昇しました。米国リート市場は新型コロナウイルスのワクチン開発進展や感染の再拡大を材料に期半ばにかけて一進一退の展開となりました。期末には米国大統領選挙が終了し政治の先行き不透明感が和らいだことや、米製薬大手が開発中のワクチンが治験で高い有効性を示したとの報道を受け上昇しました。豪州リート市場は上昇基調となり、欧州リート市場は期半ばにかけて下落基調となりましたが、期末には共に上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。米中対立激化に対する懸念などから調整する場面も見られましたが、新型コロナウイルスに対するワクチンの開発や世界的な経済活動再開への期待から堅調に推移しました。2020年9月に入ると米国で大型ハイテク株を中心に売りが広がる中、リスク選好の動きが後退したことから調整しましたが、10月以降、中国経済の底堅さやワクチン開発の進展報道などが好感され堅調に推移しました。

新興国債券市場は上昇（利回りは低下）しました。期初から2020年8月上旬にかけては、ロックダウン（都市封鎖）後の経済活動再開に伴う景気回復期待などから上昇しました。9月には米国の追加経済対策協議の難航や欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて軟調となりましたが、11月以降は米国大統領選挙でのバイデン氏勝利による不透明感の後退やワクチンへの期待感などから、再度上昇しました。米国長期金利は上昇し、対米国債スプレッド（利回り格差）は縮小しました。

ポートフォリオについて

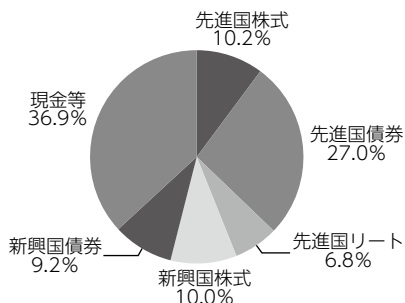
●当ファンド

基本投資比率に基づき、5つのマザーファンドとETF（上場投資信託証券）への分散投資を行いつつ、基準価額の下落幅を抑制することをめざして運用を行いました。当期は、前期に引き続きボラティリティが高かったため、期初の合計資産比率は17%程度でしたが、基準価額の動きに応じて合計資産比率を段階的に引き上げ、期末では63%程度としました。

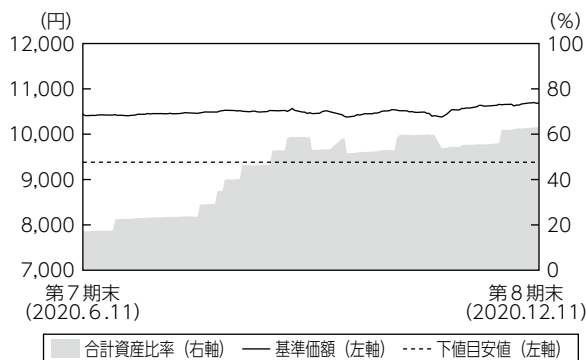
なお、当期の基本投資比率は以下の通りです。

先進国株式：15%、先進国債券：45%、先進国リート：10%、新興国株式：15%、新興国債券：15%

<当期末の資産配分比率>



<基準価額、下値目安値、合計資産比率の推移>



- ※1 比率は純資産総額に対する割合です。
- ※2 現金等とは、短期国債、コール・ローンなどの短期金融資産等をいい、当該資産へは、「D I A Mマネーマザーファンド」を通じてまたは直接投資を行います。
- ※3 先進国株式：外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド、先進国債券：為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、先進国リート：外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド、新興国株式：エマージング株式パッシブ・マザーファンド、新興国債券：エマージング債券パッシブ・マザーファンド。また、マザーファンドの他に上場投資信託証券（ETF）、有価証券指数等先物取引等を含む場合があります。

- ※1 合計資産比率は純資産総額に対する「D I A Mマネーマザーファンド」を除く5つのマザーファンドとETFおよび有価証券指数等先物取引等への投資比率の合計の割合です。
- ※2 基準価額は信託報酬控除後です。

●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）とリスク特性を極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REITインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●エマージング株式パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●エマージング債券パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース・為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、運用の基本方針で定められた格付による債券組入制限により、相対的に信用力の低い国の債券には投資しませんでした。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2020年6月12日 ～2020年12月11日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	804円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、現行の基本投資比率に基づき各マザーファンドへの分散投資を行い、信託財産の成長を図ります。また、基準価額の水準や市場環境等に応じて投資対象資産の合計資産比率を機動的に変更することでファンドのリスクをコントロールし、基準価額の下落を一定水準までに抑えることをめざした運用を行います。

なお、基本投資比率は原則として年1回見直します。

●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動したファンドパフォーマンスをめざします。

●為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

●外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

●エマージング株式パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

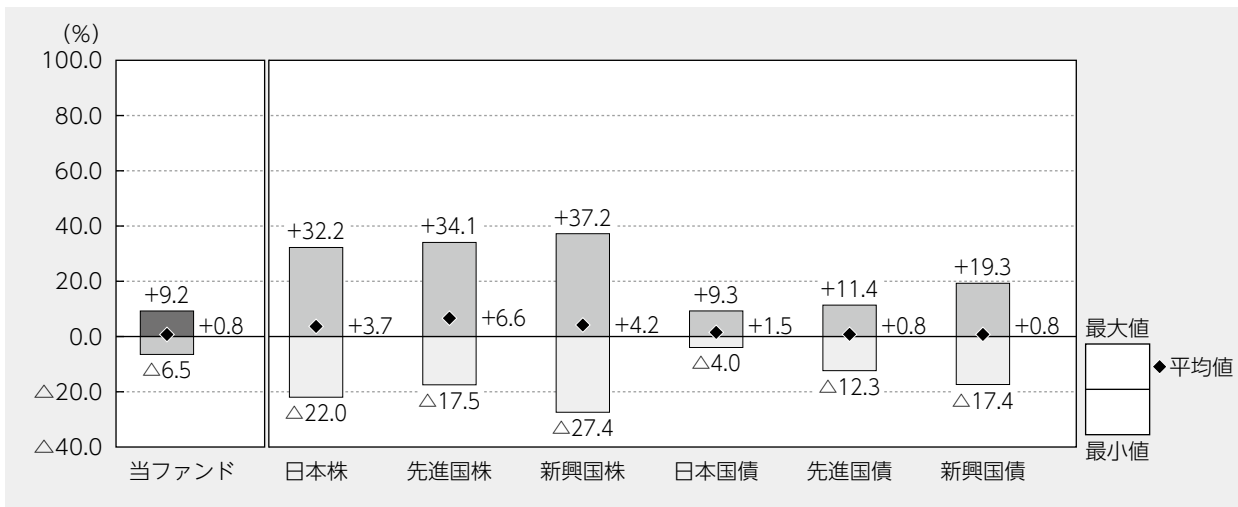
●エマージング債券パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2017年1月18日から2027年6月11日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	ワールドアセットバランス（リスク抑制コース）	以下のマザーファンド受益証券、有価証券指数等先物取引等、指数に連動する投資成果をめざす上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。なお、「DIAM マネーマザーファンド」受益証券や短期金融資産等に投資する場合があります。
	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の株式を主要投資対象とします。
	為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券*を主要投資対象とします。 ※海外の証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券とします。
	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	海外の証券取引所に上場している株式*を主要投資対象とします。 ※DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>マザーファンド受益証券、有価証券指数等先物取引等、指数に連動する投資成果をめざす上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、海外への株式、債券、不動産投資信託証券（リート）に実質的に分散投資します。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。</p> <p>※一部の新興国通貨については代替通貨等により対円での為替取引を行う場合があります。</p> <p>各資産への基本投資比率は、統計的手法により決定し、原則として年1回見直します。</p> <p>基準価額の下落を一定水準（下値目安値（*））まで抑えることを目標に、基準価額の水準や市場環境等に応じて投資対象資産の合計資産比率（**）を機動的に変更します。下値目安値は、毎営業日、委託会社の判断により過去12ヵ月間の基準価額の最高値から一定の水準に設定します。ただし、当該水準は委託会社の判断により今後変更する場合があります。</p> <p>（*）基準価額が下値目安値を下回らないことを委託会社が保証等するものではありません（相場急落の場合などには、基準価額が下値目安値を下回る場合があります。）。</p> <p>（**）合計資産比率とは、「DIAM マネーマザーファンド」を除く5つのマザーファンドとETFおよび有価証券指数等先物取引等への投資比率の合計をいいます。なお、合計資産比率の変更の際も、基本投資比率をもとに運用を行います。</p> <p>各資産への投資比率の決定にあたっては、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社の投資助言を活用します。</p>	
分配方針	決算日（原則として6月、12月の各11日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2018年1月～2020年11月

代表的な資産クラス : 2015年12月～2020年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年12月11日現在）

◆組入上位ファンド等（組入ファンド数：5ファンド）

	当期末
	2020年12月11日
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	27.0%
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	10.2
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	10.0
その他	52.9

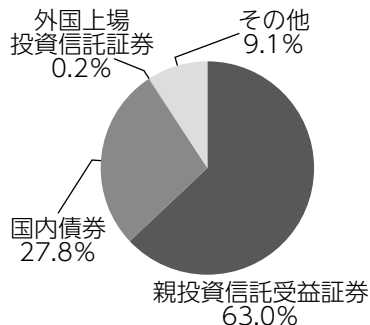
- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。
 (注3) 組入上位以外のファンドおよび上場投資信託証券、現金等はその他に含めて集計しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆組入上位銘柄

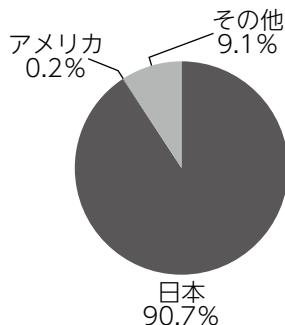
銘柄名	通貨	比率
312回 利付国庫債券（10年）	日本・円	27.8%
XTRACKERS MSCI EMERGING MARKETS HEDGED EQUITY ETF	アメリカ・ドル	0.2
組入銘柄数	2銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

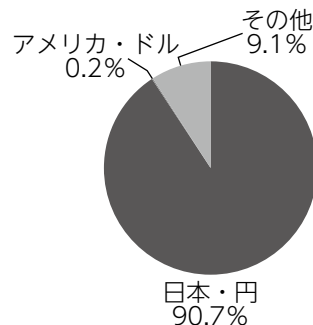
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
 (注3) 国別配分については、上場投資信託証券は発行国（地域）を表示しています。
 (注4) マザーファンドで保有する実質的な外貨建資産については、当ファンドにおいて原則として対円で為替ヘッジを行っています。

純資産等

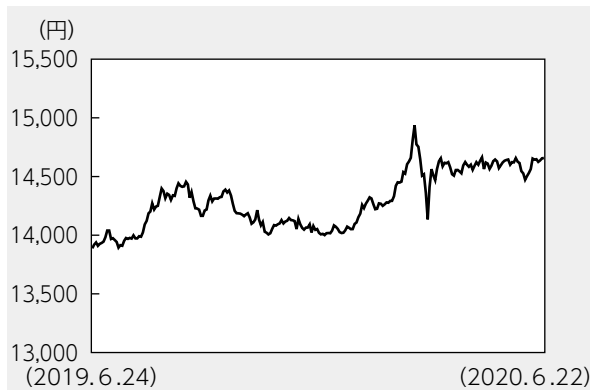
項目	当期末
	2020年12月11日
純資産総額	36,032,229,011円
受益権総口数	33,721,664,491口
1万口当たり基準価額	10,685円

(注) 当期中における追加設定元本額は108,436,378円、同解約元本額は5,849,150,571円です。

組入上位ファンドの概要

【為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】（計算期間 2019年6月25日～2020年6月22日）

◆基準価額の推移



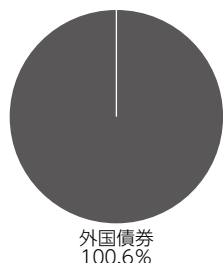
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.5 09/30/21	アメリカ・ドル	0.7%
US T N/B 1.75 05/15/23	アメリカ・ドル	0.7
US T N/B 1.625 11/15/22	アメリカ・ドル	0.7
FRANCE OAT 3.0 04/25/22	ユーロ	0.5
US T N/B 2.875 05/15/28	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 2.375 08/15/24	アメリカ・ドル	0.5
FRANCE OAT 0.5 05/25/26	ユーロ	0.5
US T N/B 2.25 11/15/24	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.625 05/15/26	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 2.5 01/15/22	アメリカ・ドル	0.5
組入銘柄数	683銘柄	

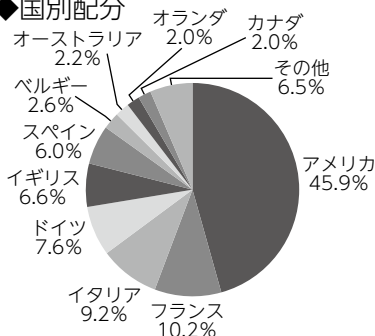
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	1円 (1)	0.010% (0.010)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	1	0.010

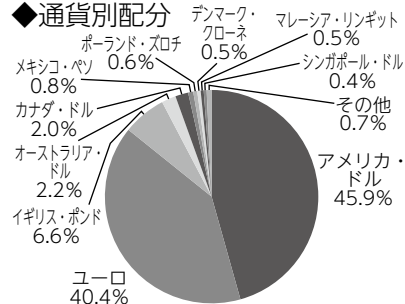
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（14,296円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分・通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注6) 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行っています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮していません。

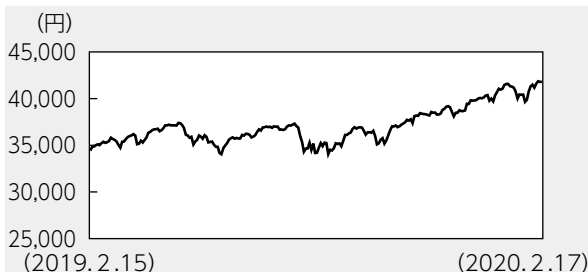
(注8) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2019年2月16日～2020年2月17日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	3.4%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.1
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.1
FACEBOOK INC	アメリカ・ドル	1.2
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.1
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.0
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	1.0
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	0.9
VISA INC	アメリカ・ドル	0.8
NESTLE SA-REGISTERED	スイス・フラン	0.7
組入銘柄数	1,321銘柄	

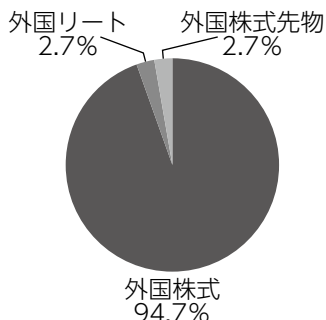
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.002%
(株式)	(0)	(0.001)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	1	0.004
(株式)	(1)	(0.004)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	13	0.034
(その他)	(13)	(0.034)
合計	15	0.040

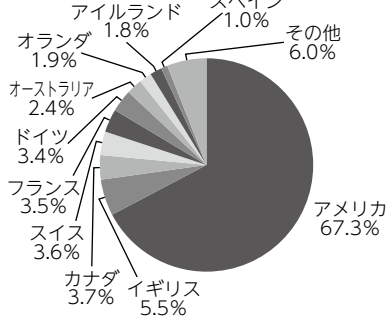
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	2.0%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.5
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.2
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.1
組入銘柄数	5銘柄	

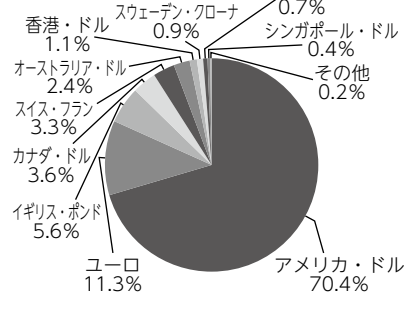
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

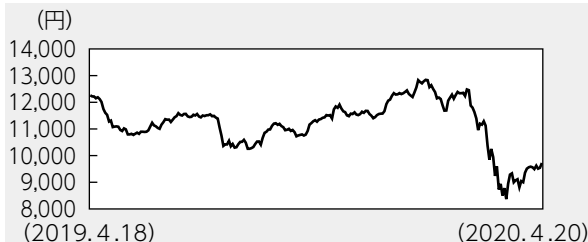


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
 (注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(37,077円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注5) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。
 (注6) 現金等はその他として表示しています。なお、資産別配分については、現金等を考慮しておりません。
 (注7) 国別配分・通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。
 (注8) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
 (注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2019年4月19日～2020年4月20日)

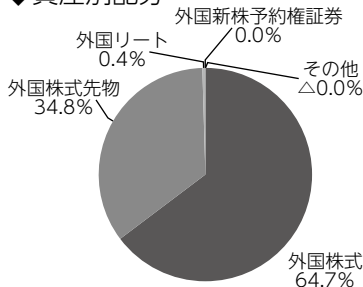
◆基準価額の推移



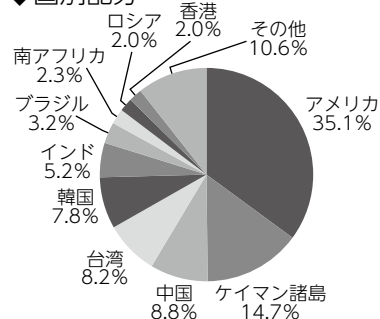
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	15円	0.134%
(株式)	(13)	(0.112)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(2)	(0.020)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	21	0.186
(株式)	(21)	(0.186)
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	22	0.201
(保管費用)	(16)	(0.147)
(その他)	(6)	(0.053)
合計	58	0.520

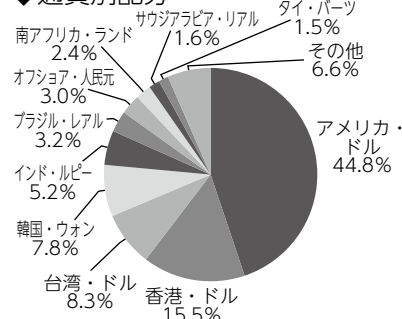
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	アメリカ・ドル	4.7%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	3.9
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	3.2
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	2.6
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	1.0
NASPERS LTD	南アフリカ・ランド	0.8
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港・ドル	0.7
CHINA MOBILE LIMITED	香港・ドル	0.6
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	0.6
IND & COMM BK OF CHINA - H	香港・ドル	0.5
組入銘柄数	1,195銘柄	

◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	34.8%
組入銘柄数	1銘柄	

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(11,180円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注6) 国別配分・通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。